

整理番号	25005
評価対象年度	令和3年度
編成区分	当初

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和2年12月18日
事業担当課	平和推進課
担当者・内線	豊・66315

《基本情報》

事務事業名	平和推進活動費 (平和コンサートとの連携事業)		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大
基本施策	B2 核兵器廃絶の世論を喚起し、平和な世界を創造します		
基本施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	国際世論が	核兵器廃絶を求め、更に拡大している。	
個別施策	B2-2 平和な世界の創造に向け、ネットワークの構築を進めます		
個別施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	市民・NGO・都市等が	平和ネットワークの輪を広げ、連携している。	

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	被爆者のいない時代が間近に迫る中、被爆者の平和への思いや核兵器廃絶への願いを受け継ぎ、次世代へつないでいく必要がある。
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	多くの人々が、スポーツや芸術などを通じて、気軽に平和について考える入口を増やし、市民の日常に「平和の文化」を根付かせる。
課題(どういことをする必要のあるのか)	平和のメッセージ等を発信するイベント(平和コンサート等)の開催を通じて、多くの人々に平和への願いをアピールし、平和を考え行動する当事者を増やす必要がある。

上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	有・ (無) ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	有・ (無) ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。

《事業の概要》

事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業期間、総事業費、事業費内訳等記載)	<p>長崎市出身の歌手・さだまさし氏が、令和3年8月に『「長崎から世界へ平和を」-稲佐山音楽祭2021-(仮)』の開催を予定している。このイベントは、さだ氏を筆頭にアーティストが集結し、長崎から世界に平和のメッセージを届けようとするもので、長崎市としても、この機会を活用し、音楽を発信源に幅広い世代の方々に、平和について考えていただくとともに、平和の大切さをアピールすることで、平和の輪を広げるもの。</p> <p>発信の方法としては、コンサート会場において、平和を想起する意匠を施したフォトスポットのブースを設置し、写真に撮りSNS等で発信することで、気軽な形で平和への行動につなげ、その思いを広げていく。併せて、メッセージボードを設置し、自分自身でメッセージを書いたり、他人が書いたメッセージを見たりすることで、平和について考えていただく機会とする。なお、ブースの中には長崎の平和の取組みなどを紹介するコーナーも設ける。</p> <p>【事業期間】令和3年度 【総事業費】1,000千円 【事業費内訳】委託料: 936千円 (フォトブース制作業務委託、メッセージボード制作業務委託、テント設置業務委託) 使用料及び賃借料: 64千円 (テント、机、椅子)</p>
業務量の増減	120時間の増

市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに☑をし、その内容を記載)	<input type="checkbox"/> 情報共有 <input checked="" type="checkbox"/> 参画 <input checked="" type="checkbox"/> 協働					
	『「長崎から世界へ平和を」-稲佐山音楽祭2021-(仮)』において、フォトスポットを設置し、来場者にSNS等で発信していただくことで、平和への思いを広げるもの。また、メッセージボードに、平和のメッセージを書き加えていただき、平和意識の高揚を図る。					
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰り返し <input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)					
予算額	金額(千円)	国	県	地方債	その他	一般財源
	当年度	1,000				1,000
	総額	1,000				1,000
	財源名称					
成果(活動)指標	指標(単位)	メッセージボード用メッセージカード配布枚数(枚)				
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	2,000				
	成果指標及び目標値の説明	平和について考え、平和への想いを発信し、共有することを図り、来場者に配布するメッセージカードの配布枚数を成果指標とした。ライブ参加予定人数のうち、2,000枚を目標値とした。				

評価結果

(1)今後の事業の方向性と理由	
<input checked="" type="checkbox"/> 採択	<input checked="" type="checkbox"/> 所管案のとおり <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 事業規模拡大 <input type="checkbox"/> 事業規模縮小 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
(2) 評価会議における指摘事項	
<p>長崎市出身の歌手さだまさし氏を筆頭にアーティストが稲佐山に集結し、長崎から世界に平和のメッセージを届けることを目的に開催するコンサートに併せて、コンサート会場内に平和に関するフォトブースやメッセージボードを設置するものである。</p> <p>平和のメッセージ等を発信するイベントの開催を通じて、多くの人々に平和への願いをアピールし、平和を考える当事者の増加が期待できることから、事業の実施は適当である。</p>	